

「音符遊び」について

大阪キリスト教短期大学
附属聖愛幼稚園

小木曾光子

「保育」の四月号に「幼稚園と小学校教育との連関のために」と言う見出しで文部省学習指導要領音楽科篇の改正発表がありました。その第一章「幼稚園の音楽教育の目標」について詳細に述べられてあります。その中の「リズム反応」の五「音符及び休符の長さに対して身体的反応をする能力を伸ばす」と書いてありましたが、どなたもお読みになつた事と思います。

私は子供達が音符及び休符の長さを自発的に表現する事が出来る様に子供達の理解出来る言葉と擬人法とで童話化し遊戯化して子供達の眼の前にくり広げて見ました。其の結果子供達は音楽的感覚の豊かな子供となるばかりではなく次の様な指導効果が現われて来ました。

- 一 協同精神が涵養された。
- 二 精神を統一する態度が養成された。
- 三 性格が明るくなつた。
- 四 「一」より「四」までの数の構成が遊びを通して理解出来る

た。

- 五 創作能力の向上を計る事が出来た。
 - 六 注意力と観察力が養成された。
 - 七 動作が活潑になつた。
 - 八 リズムに合わせて一定の歩調を取つて行進出来る様になつた。
- 然し此の様な成果を上げるには、

- 一 教えると言う態度を取らない事。
 - 二 興味を失わない様に変化をつけながら遊びの中に取入れて行く事。
 - 三 子供達の生活内容の一部となつて自分自身の力で發展して行く様に取りあつかう事。
- 等に注意しなくてはなりません。
- ではこの遊びは何才頃から遊べるか又適当かについて私は子供達が概念的なものでも其の長短の区別と比較が理解出来又表現が出来るかについて入園前の子供を対照に調査して見ました。

ちやん遊び

♩=120 (昭和27年3月31日調査)

動作	年齢	人数	回数				
			1	2	3	4	5
両手で体前に 円形を書く	4才	12人	12				
	4,5	16	16				
	5	32	32				
	5,5	22	22				
四拍のばして 歩行する。	4才	12人	4	6	8	8	10
	4,5	16	8	10	12	16	
	5	32	32				
	5,5	22	22				

「長短」「大小」の理解

(昭和27年3月31日調査)

	年齢	3才	3.5		4		4.5		5		5.5	
			〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃		
人数	2人	10	12	6	32	22						
鉛筆	長短	0	6	12	16	32	22					
	大小	2	10	12	16	32	22					
声	長短	0	0	10	13	32	22					
	大小	2	10	12	16	32	22					
ピアノ	長短	0	0	8	14	32	22					
	大小	2	10	12	16	32	22					

ちやん遊び

♩=120 (昭和27年3月31日調査)

動作	年齢	人数	回数
			1
両手で一拍子 長さを(自由) 表現す。	4才	12人	12
	4,5	16	16
	5	32	32
	5,5	22	22
二拍子(四拍子) 歩行(四拍子)	4才	12人	12
	4,5	16	16
	5	32	32
	5,5	22	22

ちやん遊び

♩=120 (昭和27年3月31日調査)

動作	年齢	人数	回数				
			1	2	3	4	5
両手で二拍の長 さを表現する	4才	12人	12				
	4,5	16	16				
	5	32	32				
	5,5	22	22				
二拍のばして 歩行する	4才	12人	8	10	10	10	12
	4,5	16	10	14	16		
	5	32	32				
	5,5	22	22				

其の結果満四才になれば「音符遊び」は遊べ、知能的に身体的に決して無理でないことが立証されました。

指導の實際

これは既にBKより全国放送も致し又昨年六月、日本音楽教育学会に於いても発表致しました。

一、声の長短の比較

「いつも日曜日になるとラジオからのど自慢が聞えて来ますね、今日は幼稚園の子供さん達に面白いのど自慢をせひ聞いてもらいたいとさつきから待つていらつしやるお客様が有ります。一体どなたでしょう、早く出ていらつしやいな」

「ハイ！ 坊ちゃんお嬢さん今日は、これから私達二人はどちらが長く声をのばして歌うかのど自慢をしますから聴いて下さいね」

牛の歌

もうーの牛が歌います。皆んなあで一緒に調子を合せ皆んなあで一緒に、

歌います、もう……………

歌います、もう……………

あゝ面白い

猫の歌

にあこの猫が歌います。皆んなあで一緒に調子を合せ皆んなあで

一緒に

歌います にあ……………

歌います にあ……………

あゝ面白い。

「さあどちらが長く声をのばしましたか」

子供達答える「

「そーく牛さんの方が長くのばしましたね」

二、全音符（坊ちゃん遊び）

「牛さんの声はどの位長く伸ばしたか、一つ私達手をたゝいて調べて見ようではありませんか」

「もう……………もう……………」

「幾つ手をたゝきましたか」

子供達答える「

「では牛さんが歌う間に私達どんなお遊びが出来るでしょう」
「では牛さんが歌う間に私達どんなお遊びが出来るでしょう」
「では牛さんが歌う間に私達どんなお遊びが出来るでしょう」

「おや、牛さんの歌うのに合せて私達はこんな大きなおまらが書けましたね、ですから四ツ伸ばすこと、まるちゃん、つて名前をつけたらどうでしょうね」

子供達答える「

「まるちゃんは幾つ声を伸ばしましたか」子供達答える「

坊ちゃんの歌

私の名前は〇ちゃんお牛は四つよ

一二三四、一二三四、一二三四、

三、二分音符（♩）遊び

「今度は猫さんの声を調べてみましょう」

「猫さんもう一度歌つて下さいな」

「ハイ、くにあ……にあ……」

「幾つ手をたゝきましたか」

子供達答える「

「そう、く猫さんは二ツのばしましたね」

「この猫さんのお身体は真白いく毛がはえていてそれはく可愛い猫さんです。二ツ伸ばすことなんて名前をつけましょうかしらね」

子供達答える「

「二ツ伸ばすことしろちゃんど名前をつけましょう」

♩ ちゃん の 歌

私の名前は ♩ ちゃん お年は二ツよ

一二 一二 一二 一二

註、歌いながら二拍の動作をします。

円形の紙を見せて、

今こゝにこんな、まるいおせんべいが有りますこれを〇〇ちゃんと〇〇ちゃんの二人に仲よく分けて上げようと思ふのですが、どの辺から切りましょうか」

子供達答える「

「まるちゃんのお年は幾つでしたっけ」

子供達答える「

「指で教へて下さい」

子供達四本指を出します。

「この四本を両方同じ様に分けるにはどの辺でしようかしら」

子供達答えてしてみせます。

「幾つづつになりましたか」

子供達答える「

「そう、く二つづつになりました」

「だれかの声と同じ二ツです」

子供達答える「

「ホラさつきまるちゃんのおせんべいを丁度同じ様に二つに切つたでしよう、ではこの半分半分はいくつづつになりますか」

子供達答える「

「そうね二つです」

「そしてお名前、だれちゃんだったか覚えてるかしらばら猫さんの声の二つよ……」

子供達答える

「二つに分かれる歌（♩）ちゃんになる」

♩ ちゃん、ランラララン、ランラララン、二つに分れて ♩ ちゃん

♩ ちゃん

お手をつなぐ歌（〇）ちゃんになる

♩ ちゃん、♩ ちゃん

ランラララン、ランラララン

お手をつなげば ○ちゃん

「○ちゃんの中に♪ちゃんはいくつ有りますか」

子供達答える「

「♪ちゃんが二つよつたら何になりますか」

子供達答える「

四、四分音符 ♪ ちゃん遊び

「カア／＼カア皆さん私の声も調べて下さいな」

おやく／＼からすさんが来ましたよ、どうでしょう、からすさんの

声もみんなで調べて上げましょうか」

子供達答える「

「ではからすさん歌つて下さいな」

からすの歌

カア、カア のからすが歌います

皆んなあで一緒に 調子を合せ皆んなあで一緒に、歌います

ア、歌いますカア、あ、面白い

「さあ、からすさんの声は幾つ伸ばしましたか」

子供達答える「一つです」

「そして名前はなんとつけましょうか」

子供達答える「くろちゃん」

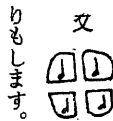
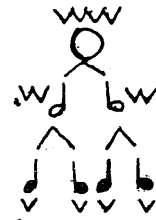
♪ ちゃんの歌

お顔は黒くてお年は一つ♪ちゃん

一三四五 一三四五

と歌い乍ら一拍を各自思いのままの動作によつて表現させます。

上図を先きの「カード作り」の歌の様に
して歌います。



又
のカード作りをしたり書取
りもします。

器の合奏をして遊びます。

これ等の創作もします。

を見て歩いたりポーズをつけたり又案

五 其の他の音符

♩ ちゃん ♩ (ようかん或はたの上の積木)

♩ (下向きようかん、又は積木のちゆう返り) ♩ (蝶) ♩

(ちよん) 等と呼び又いろいろの音符の歌をうたいます。



の和音聴音を「ハホトで。」ちや

ん」の様に音符と和音を結びつけて呼び又書取りもします。

以上の様に幼児の音楽教育を視覚方面と聴覚方面の二つの平行線
を同時に進めたのが音符遊びであります。